

はじめに

楓は紅色、銀杏は黄金色とはなやかな錦の秋ですが、朝夕は一段と冷え込む日もあり、日増しに寒く冬の訪れを感じる頃となりました。同時にインフルエンザが心配され、手洗い、うがいを励行し、感染予防に努め、体調管理も行いながら訪問していきたいと思っています。

地域医療教育講演会



9月18日(金) 大田市立第一中学校3年生
約160名を対象に、地域医療の現状と訪問看護についてのお話をして来ました。また、実習に来ていた看護学生2名も参加し、学生の立場から訪問看護についてお話をしてもらいました。

将来看護師を目指している生徒さんから、訪問看護のやりがい、心掛けている点等質問を受けました。利用者さんの笑顔が見られるような対応を常日頃心掛け、温かいお言葉を頂いた時にはやりがいを感じていると伝えました。今年度初めての試みでしたが、この講演が少しでも生徒の皆さんのお力になればと思います。

訪問看護部会研修

リンパ浮腫研修が開催されました！！

10月4日(土) 参加者：18名

講師：島根大学医学部付属病院

リハビリテーション部

理学療法士 道端 ゆう子先生



この研修を通じて、リンパ浮腫の病態、終末期がん患者さんへの対応を学ぶことができました。

また、受講者同士で互いに実技演習をすることで、リンパドレナージュの流れや力の入れ方等具体的に知ることができ、今後の看護に役立つ学びの多い研修でした。



大田市立病院

訪問看護ステーション便り

発行第9号 2015.11



在宅看護論実習

今年度より、出雲医療看護専門学校3年生の在宅看護論実習を受け入れることとなりました。施設看護との違いに驚く学生もいますが、終了する頃には、それぞれに学びを深めておられます。実習での学生の感想をご紹介します。



今回初めて大田市立病院訪問看護ステーションさんで実習をさせて頂き、様々な方の訪問に同行させていただきました。その中で、利用者さんの生活や価値観などの個別性を考えた看護を学ぶことができました。利用者さんやご家族がどうしたらより良く在宅での生活を続けられるかということをスタッフ全員で考えられていて、利用者さんとそのご家族を気遣う優しさのサービス提供を含め、たくさんの学びがありました。

在宅看護の実習を通して、利用者さんやご家族さんの思いを尊重し、その方に合った看護を提供することの大切さを学ぶことができました。訪問を通して、利用者さんの生活背景や価値観について実際に知り、改めて個別性のある看護について考えることができました。現在、少子高齢化や在院日数の減少により、在宅看護が重要とされてきています。住み慣れた地域で安心して過ごすことができるよう、限られた時間・資材の中で、質の高い訪問看護の提供が大切だと学ぶことができました。

